

町道路線の認定について

◆建設管理課

問 今回認定する町道の幅員の幅については、一部4メートル未満の箇所があるが、今後住宅等を建てる場合には、セツトバックしてもらったことが条件となる。

令和4年度高鍋町一般会計予算について

◆地域政策課

問 プレミアム付商品券発行事業の内容は。
答 今回もプレミアム率は30%、県の補助金が増額した分は、発行部数を増やす予定で考えている。

問

創業支援事業補助金事業の実績と、対象者の第二創業を含むの説明を。
答 実績については令和2年度、3年度ともに3件ずつ助成。第二創業については、今実施している事業と異なる事業を行う場合とされている。

◆農業政策課

問 生分解マルチ購入補助金の予算が400万円出ているが、過去の実績は。
答 令和3年の実績は55名、369万円を助成。今後も生分解マルチの使用推進に取り組んでいきたい。

◆社会教育課

問 埋蔵文化財専門事務員を新たに雇用することだが。
答 持田古墳群の日本遺産の認定に伴い、整備に力を入れたいことから、埋蔵文化財の専門知識を有した方を雇用する予定である。

問

歴史シンポジウムが予定されているようにだが、コンセプトや依頼する講師などについて詳しく。
答 テーマとしては、高鍋から世界に羽ばたいていった「高鍋の四哲(してつ)」といわれる方々にスポットを当て、歴史作家の講演やパネルディスカッションを予定している。

◆上下水道課

問 昨年度から実施している防草シートによる雑草対策の効果とシートの耐久については。
答 効果は出ており、耐久年数に関しては、5年間は大丈夫だと考えている。

◆建設管理課

問 蚊口海浜公園キャンプ場の利用が有料になるが、今回の入り口の改良工事で、公園がどう変わるのか。
答 今回は、乗り入れ口を整備し、車が乗り入れられるようにすることと、遊具エリアに車両が進まないように工事を行う。
問 歳入の町営住宅使用料が200万円ほど増額計上となっているが。

◆農業委員会事務局

問 以前に比べ、収納率がかなり上がっている実績による増額計上。要因は、税務課の収納係と連携をして2、3か月滞納があると本人と連帯保証人に通知をするなど、こまめに連絡を行っていることによるもの。

◆教育総務課

問 学校の雨漏りの状況はどうなっているのか。現在、西小学校屋上の大規模改修工事を実施している。
答 配管等の漏れが原因で漏れているということもあったので、今回の予算に計上し対処する。

◆農業委員会事務局

問 耕作放棄地の状況は。現状は横ばいで、面積としては約65万平方メートル、農地全体に占める4%程となっている。



認定町道路線の現地調査

第1回臨時会

令和4年第1回臨時会を1月31日(月)に開催しました。
令和3年度高鍋町一般会計補正予算(第12号・13号・14号)について、専決処分の提出と議案第4号では、わかば保育園調理室等増築他大規模改修工事(建築主体工事)請負契約について、議案第5号では令和2年度高鍋町一般会計補正予算(第15号)を審議し、原案のとおり承認可決されました。

提出された議案と審査結果

◎: 全員賛成

番号	件名	結果
議案第1号	令和3年度高鍋町一般会計補正予算(第12号)	◎
議案第2号	令和3年度高鍋町一般会計補正予算(第13号)	◎
議案第3号	令和3年度高鍋町一般会計補正予算(第14号)	多数
議案第4号	わかば保育園調理室等増築他大規模改修工事(建築主体工事)請負契約について	◎
議案第5号	令和3年度高鍋町一般会計補正予算(第15号)	◎

◆議案第1号の補正額は1億6163万円を追加し、予算総額を124億7652万円となりました。
提案理由: 年内の先行給付分5万円の現金とあわせた10万円の現金一括給付が可能との方針が政府より示されたことから、緊急に年内の現金一括給付に係る経費分の補正予算を編成するもの。

◆議案第2号の補正額は3億2507万円を追加し、予算総額を128億159万円となりました。
提案理由: 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、住民税非課税世帯等に対して、1世帯あたり10万円を給付するもの。

◆議案第3号の補正額は6129万円を追加し、予算総額を128億6288万円となりました。
提案理由: 「感染症対策時間短縮要請協力金事業支援金」の要請に伴う支援金を支給するもの。

◆議案第4号
わかば保育園調理室等増築他大規模改修工事(建築主体工事)請負契約について
場所 高鍋町大字北高鍋3516番地11(わかば保育園内)
契約方法 指名競争入札 契約金額 1億2155万円
相手方 高鍋町大字持田1582番地 株式会社 岩切建設

◆議案第5号の補正額は901万円を追加し、予算総額を128億7190万円となりました。
提案理由: 国の定めた要件により、子育て世帯への臨時特別給付金の対象とならない世帯に対して、子育て支援及び公平性の観点から、独自に10万円の給付を行うもの。